

ニュース企画「手話が語る福祉」に対し

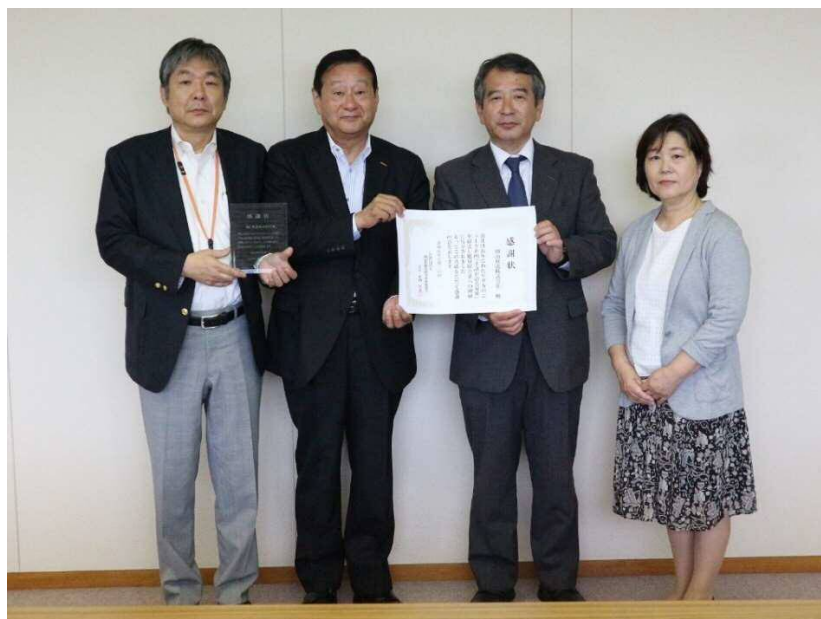
岡山県聴覚障害者福祉協会より感謝状を頂きました【報告】

25年以上にわたり OHK で放送を続けるニュース企画「手話が語る福祉」が、聴覚障害者の理解につながったとして、(公社)岡山県聴覚障害者福祉協会から、感謝状が贈られました。本日、同協会の中西厚美会長と佐藤美恵子事務局長がOHK本社(岡山市北区学南町)を訪れ、弊社社長の中静敬一郎が感謝状と記念品を受け取りました。



手話が語る福祉は、1993年に夕方のニュースの中で始まったコーナーで、毎月様々なテーマを、手話と字幕を使った特集としてお伝えしています。中西会長は、「手話を取り入れた長年の放送は聴覚障害者への理解につながっています」と感謝のお言葉を述べられました。また、弊社社長の中静も手話を交えお礼の言葉を伝え、「スタッフ一同協力し、これからも手話が語る福祉を続けていきます」と取り組みの継続を約束しました。

現在、手話が語る福祉は夕方のニュース番組「OHK Live News 614」で毎月第1金曜日に放送しています。次回7月5日の放送では西日本豪雨から1年の節目に、「聴覚障害者」の防災について考えます。ぜひご覧ください。



(左から) OHK 永井靖専務、中静社長、(公社)岡山県聴覚障害者福祉協会 中西会長、佐藤事務局長